

ヤングケアラーについて

石川県健康福祉部少子化対策監室

ヤングケアラーとは

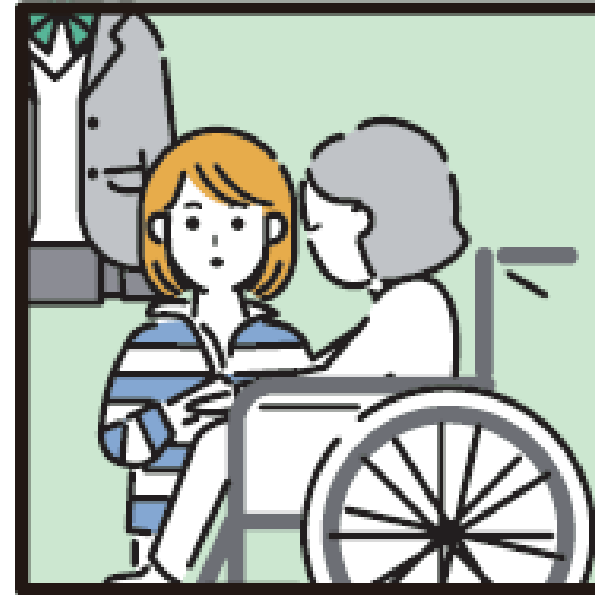
本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている児童・生徒



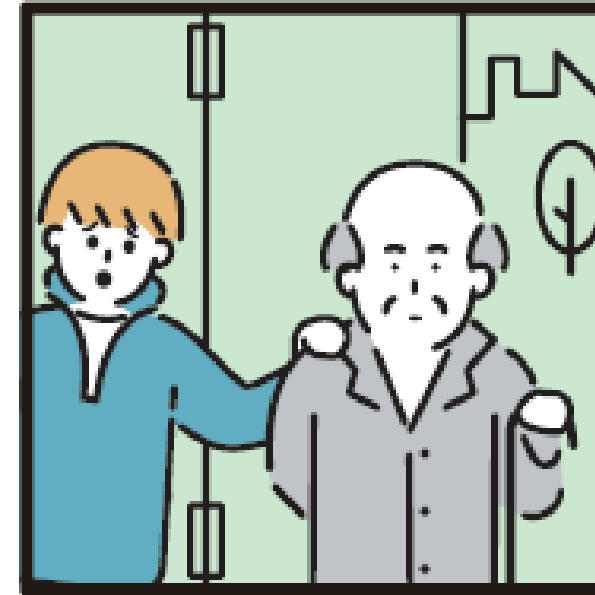
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



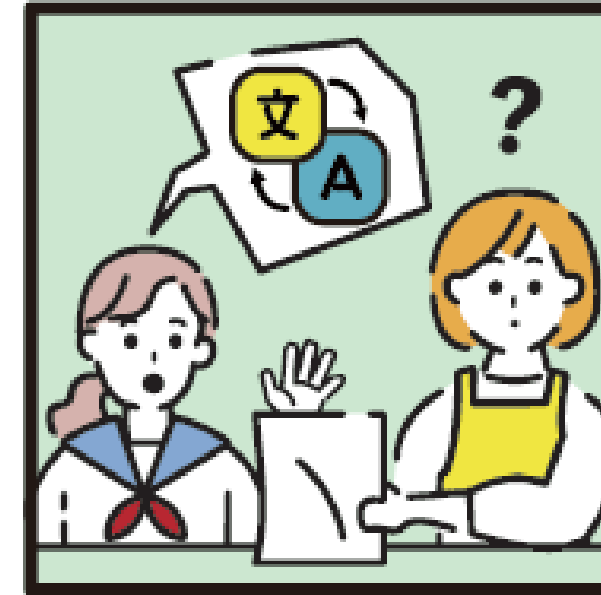
家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



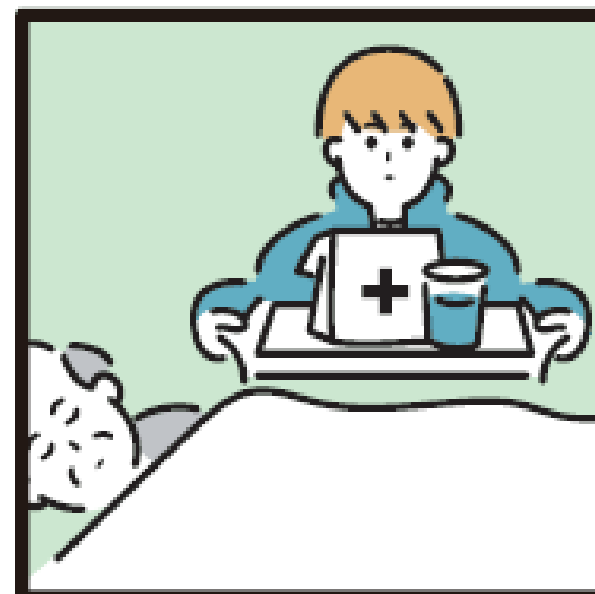
日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

「石川県ヤングケアラー実態調査」の結果について

調査の目的

ヤングケアラーは家庭内のデリケートな問題であること、本人や家族に自覚がないといった理由から支援が必要であって表面化しにくいという特徴があることを踏まえ、実態調査により、本県のヤングケアラーの傾向を把握することで、早期発見と適切な支援に向けた体制づくりを促進する

調査の対象・回収数等

1 対象・方法

県内すべての小学校6年生、中学校2年生、高校2年生に、アンケート調査を実施

2 回収数

・小学6年生 9,509人（回収数4,866人、回収率51.2%）

・中学2年生 10,114人（回収数4,294人、回収率42.5%）

・高校2年生 9,552人（回収数3,114人、回収率32.6%）

全体 42.1%

$\left(\frac{\text{回収数 } 12,274\text{人}}{\text{対象数 } 29,175\text{人}} \right)$

3 調査期間

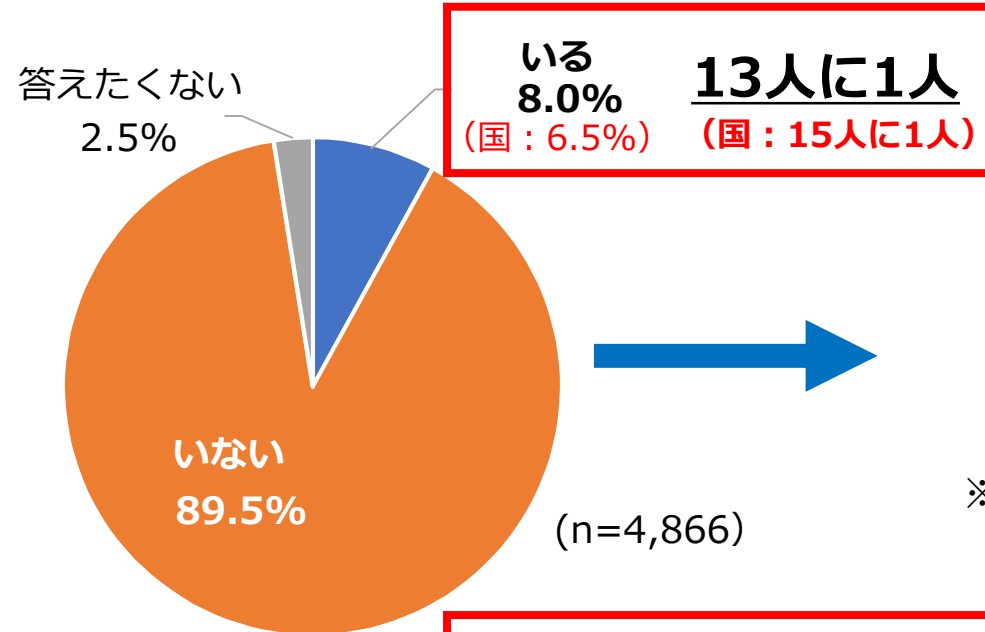
令和4年6月20日から7月20日まで

結果のポイント① ヤングケアラーの割合

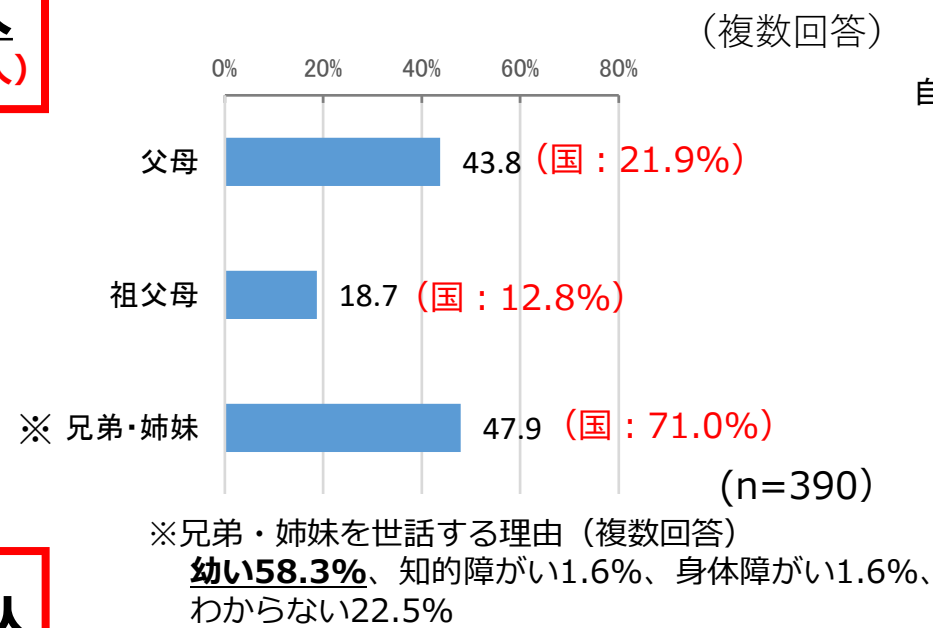
○世話をしている家族が「いる」と回答したのは、小学6年生が8.0%、中学2年生が5.0%、高校2年生が3.2%

小学6年生

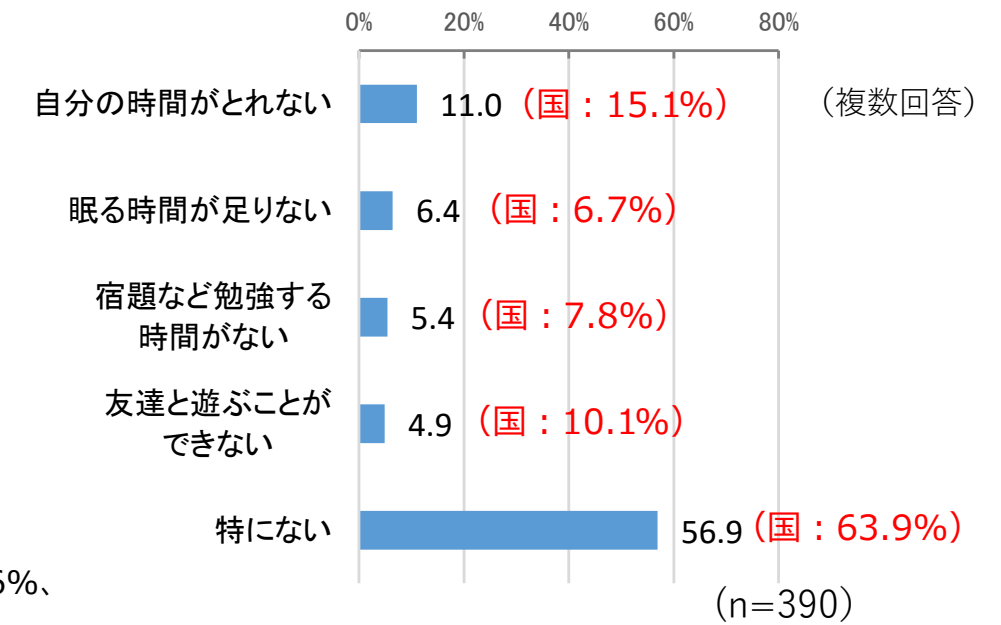
〔世話をしている家族の有無〕



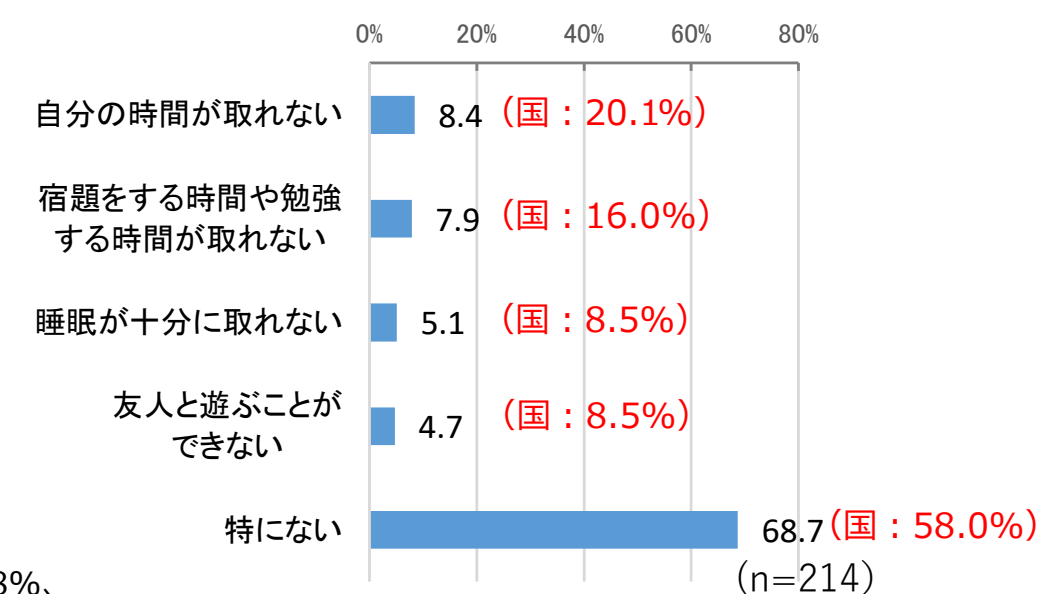
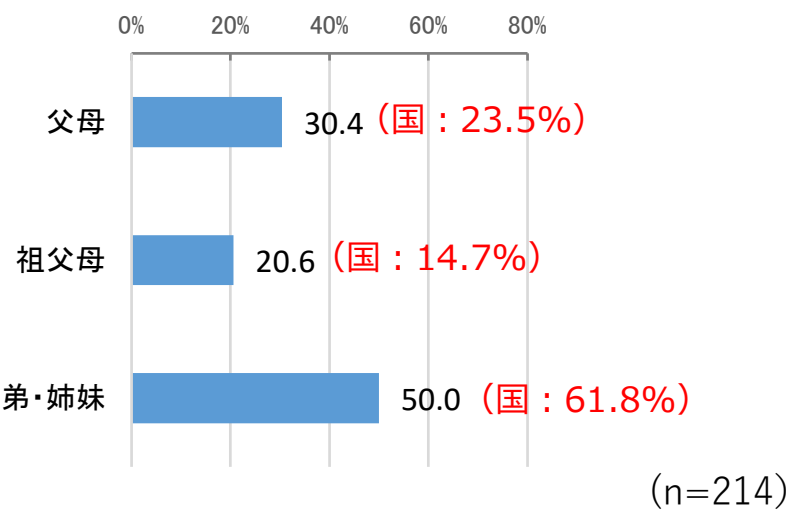
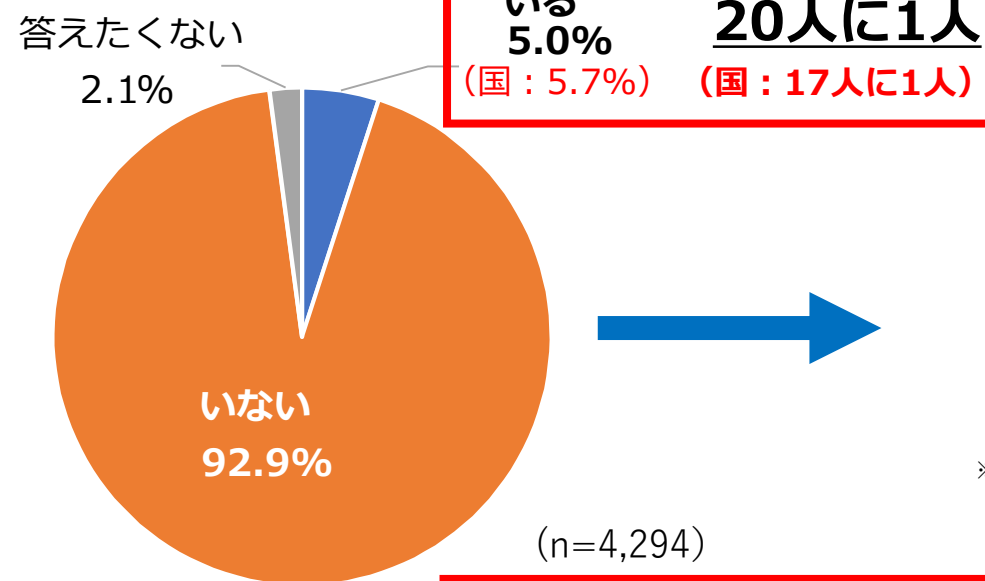
〔「いる」と答えた人のうち、世話をしている家族の内訳〕



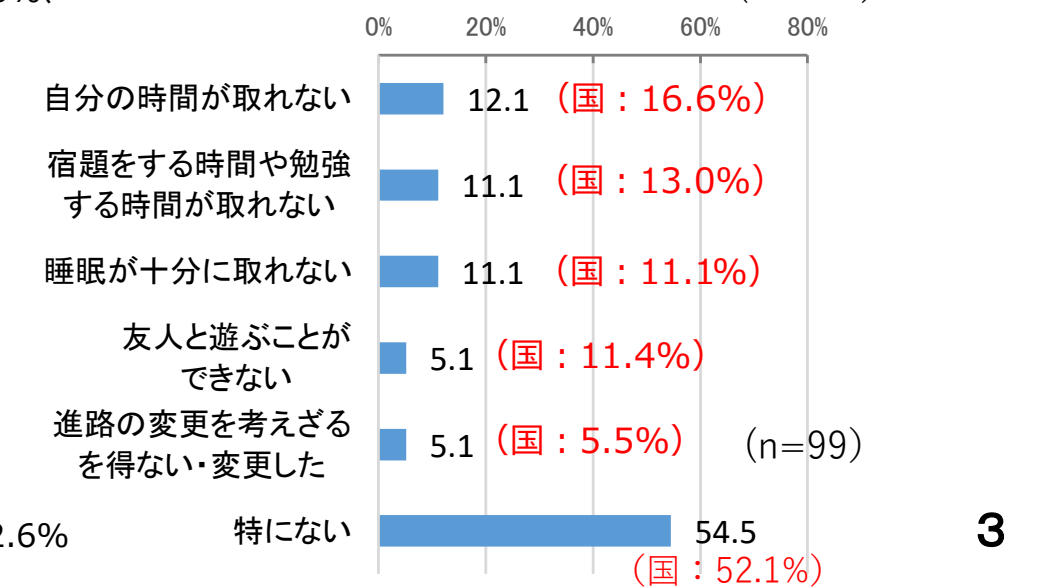
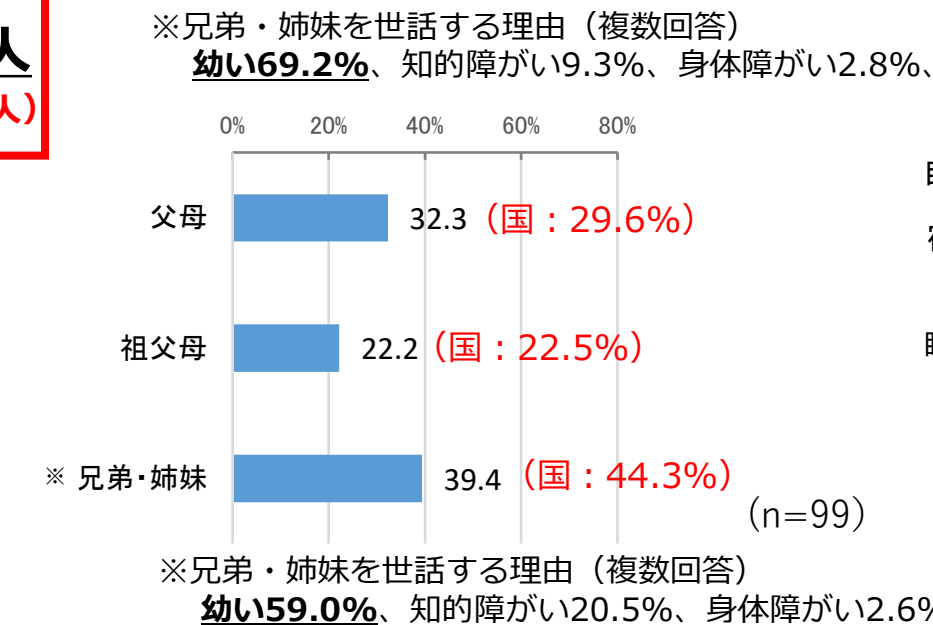
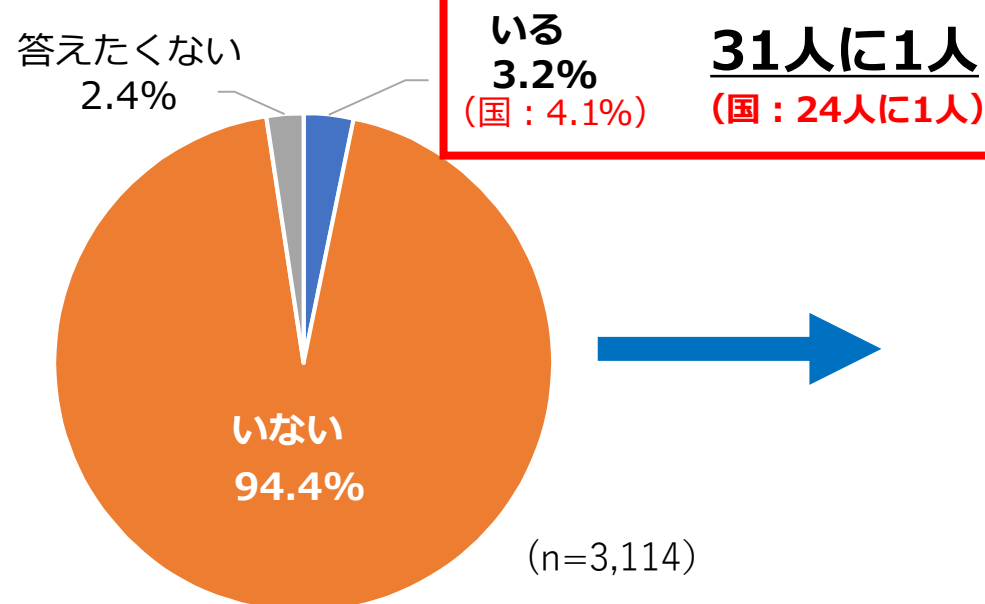
〔世話をしているために、やりたいけれどできないこと〕



中学2年生



高校2年生



結果のポイント② ヤングケアラーの自覚・認知度

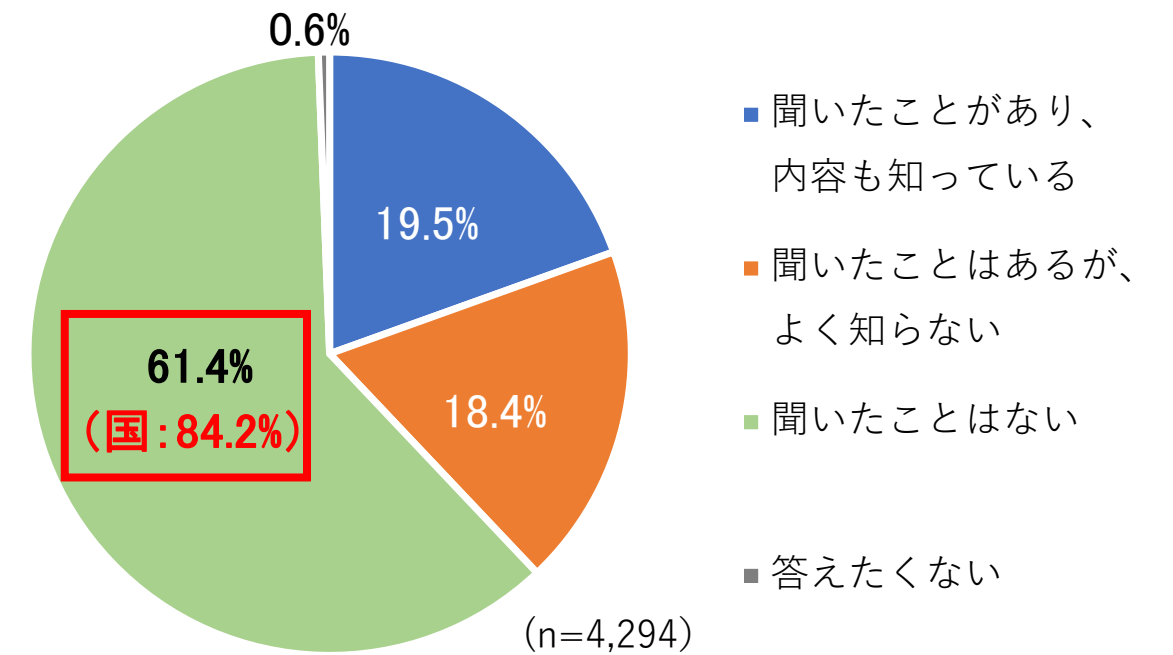
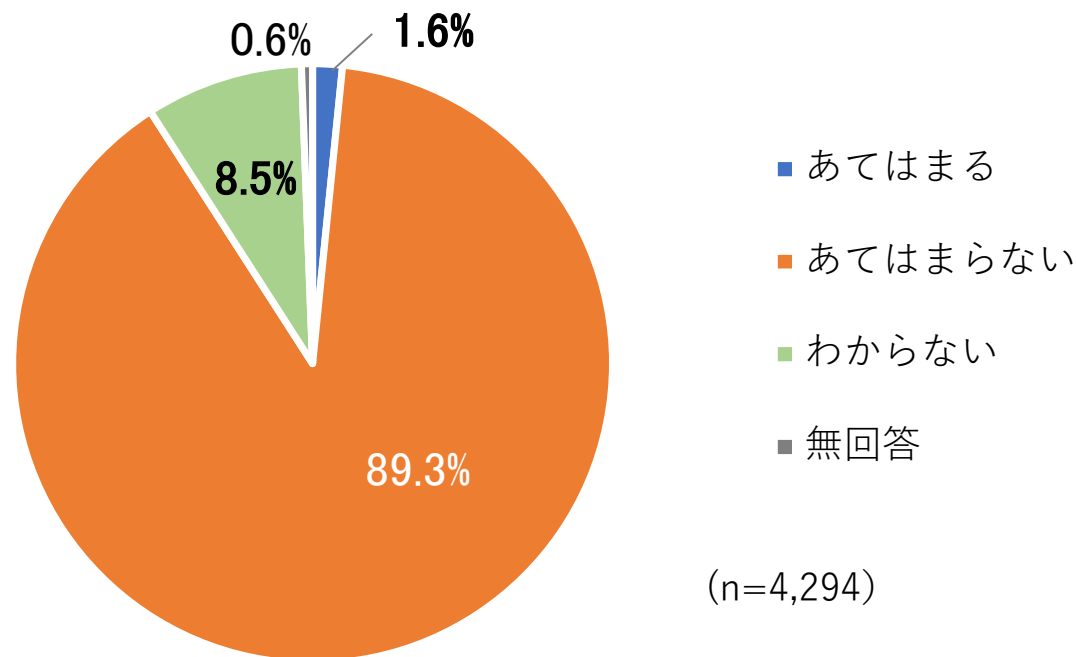
○ヤングケアラーと自覚している子どもは、
中学2年生は1.6%、高校2年生は1.4%
 「わからない」とした子どもはともに1割弱

○ヤングケアラーの認知度はおおよそ半数程度
 「聞いたことはない」と回答したのは、
中学2年生は61.4%、高校2年生は49.4%

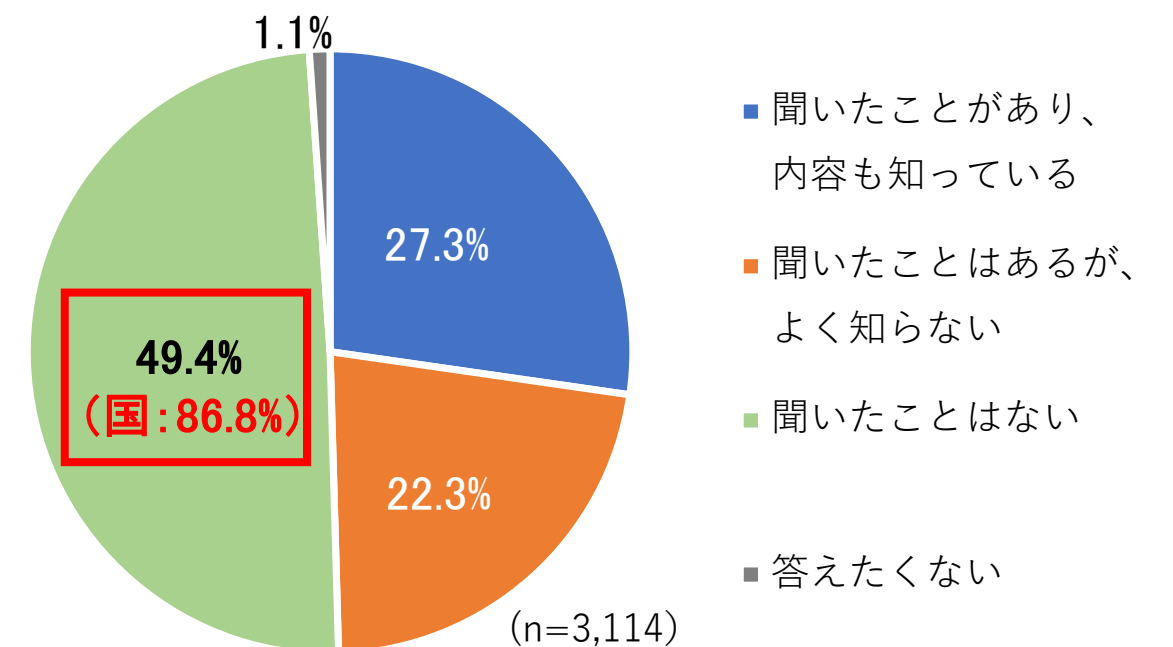
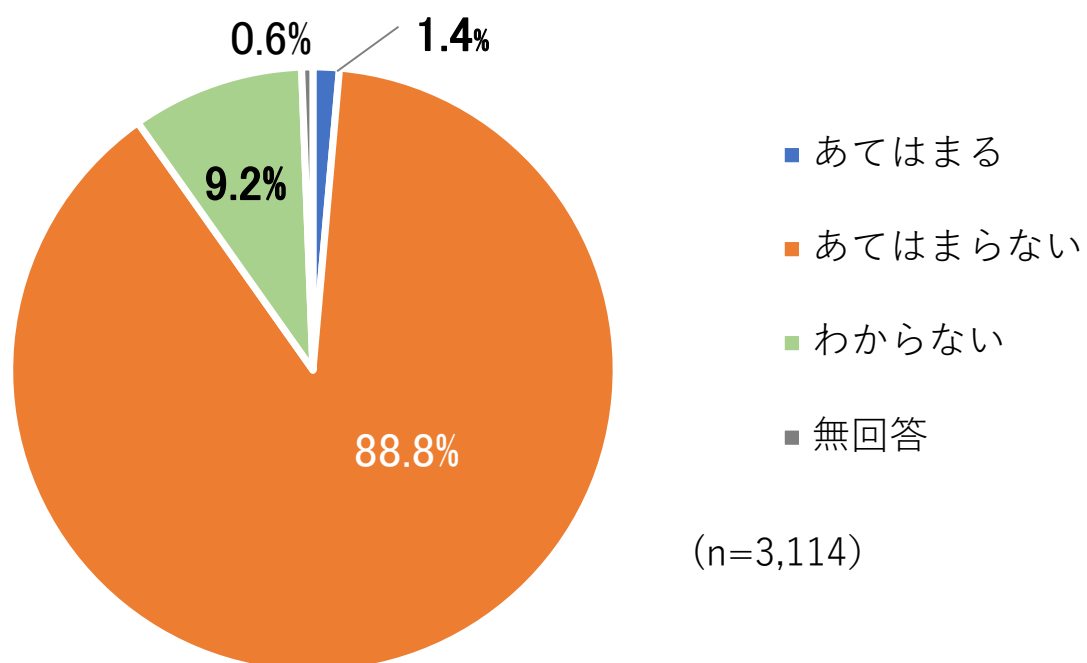
[ヤングケアラーにあてはまるか]

[ヤングケアラーの認知状況]

中学2年生



高校2年生



※ヤングケアラーの自覚度及び認知度については、小学6年生調査では実施していない（国調査と同様）

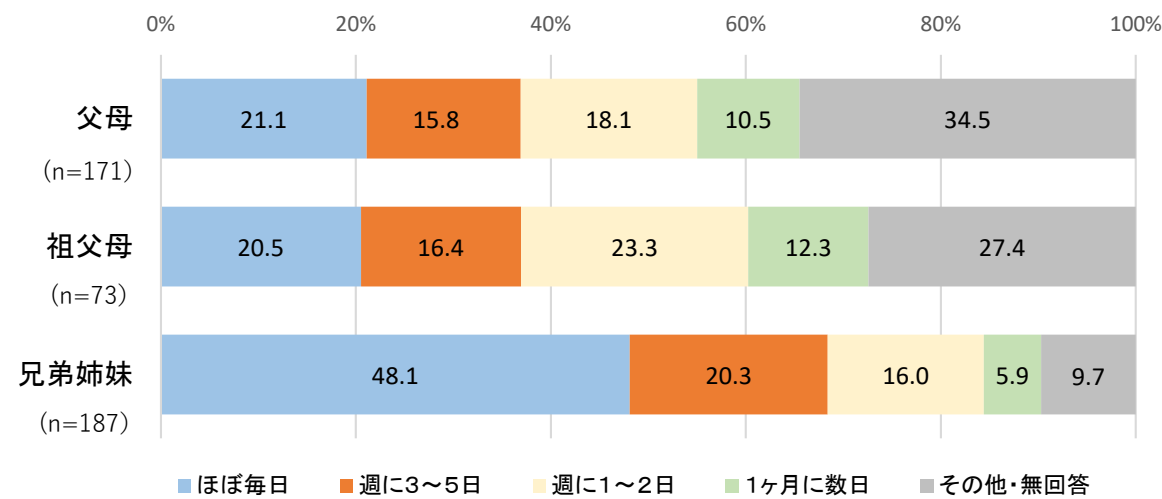
結果のポイント③ 世話の頻度・時間

○世話の頻度について、「ほぼ毎日」が2～5割程度となっている。

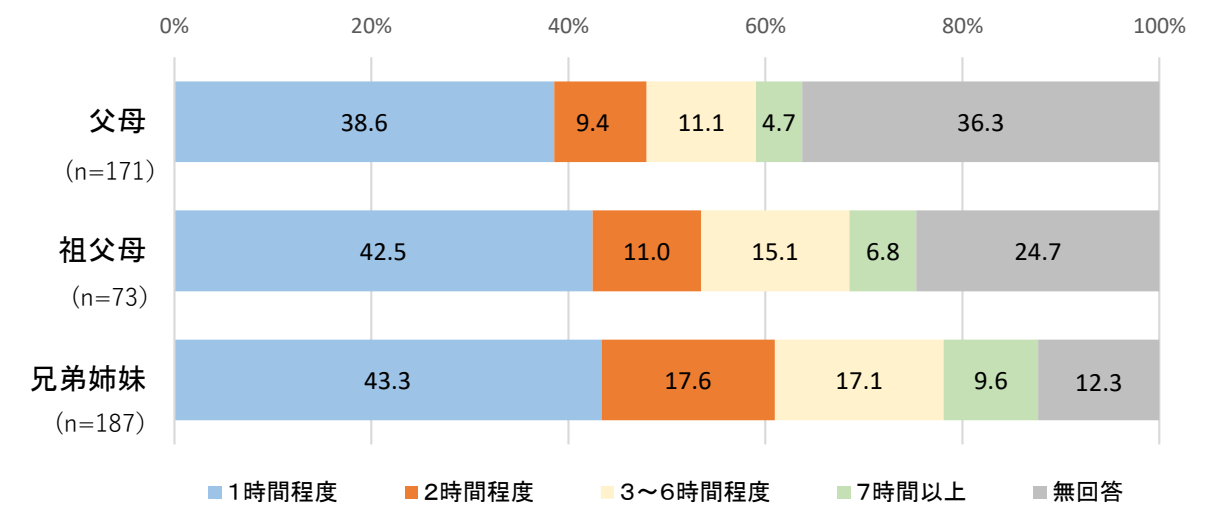
○平日1日あたりの世話に費やす時間について、「1時間程度」が最も多く、「2時間程度」までで5～6割程度を占めている

小学6年生

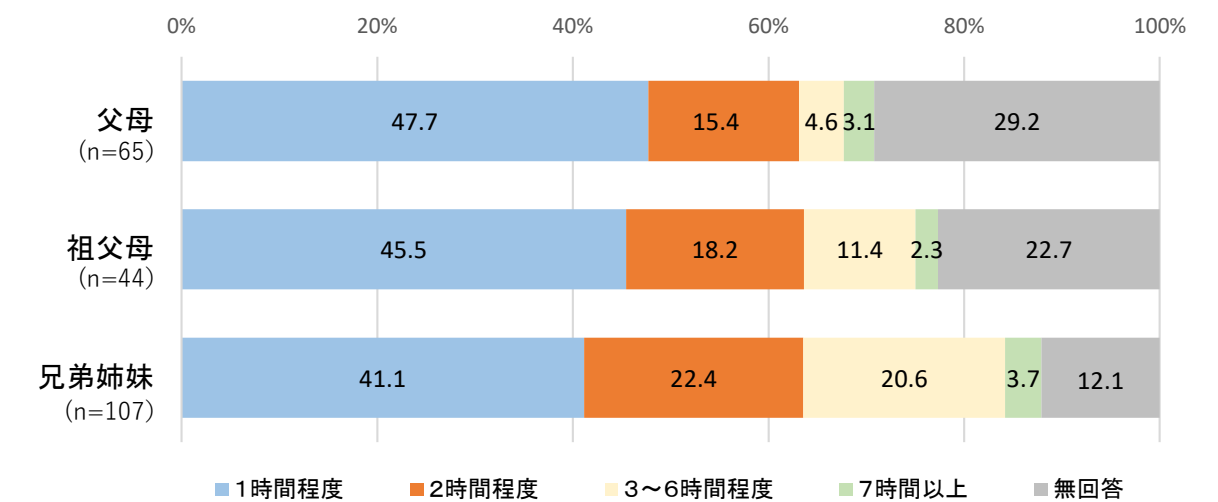
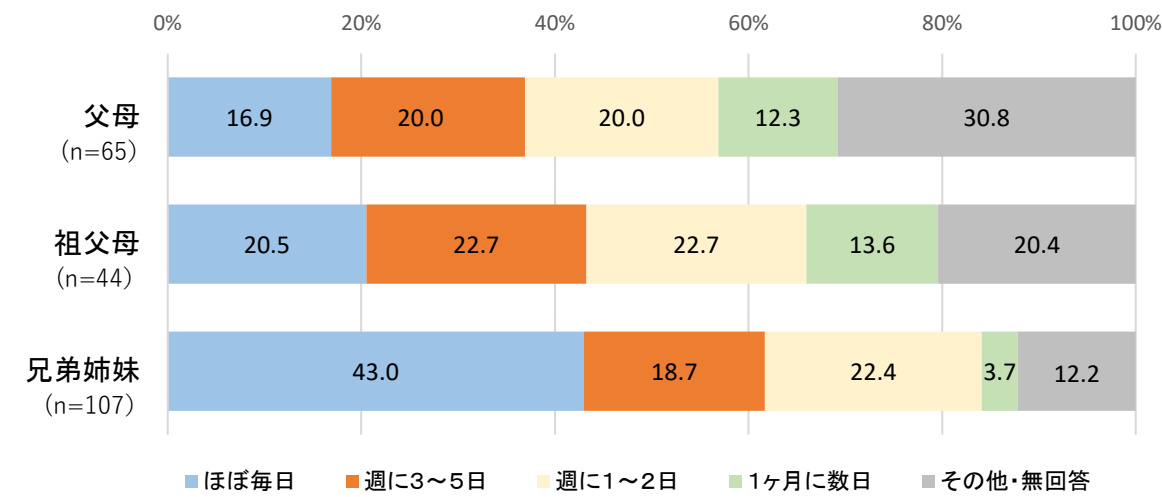
[世話の頻度]



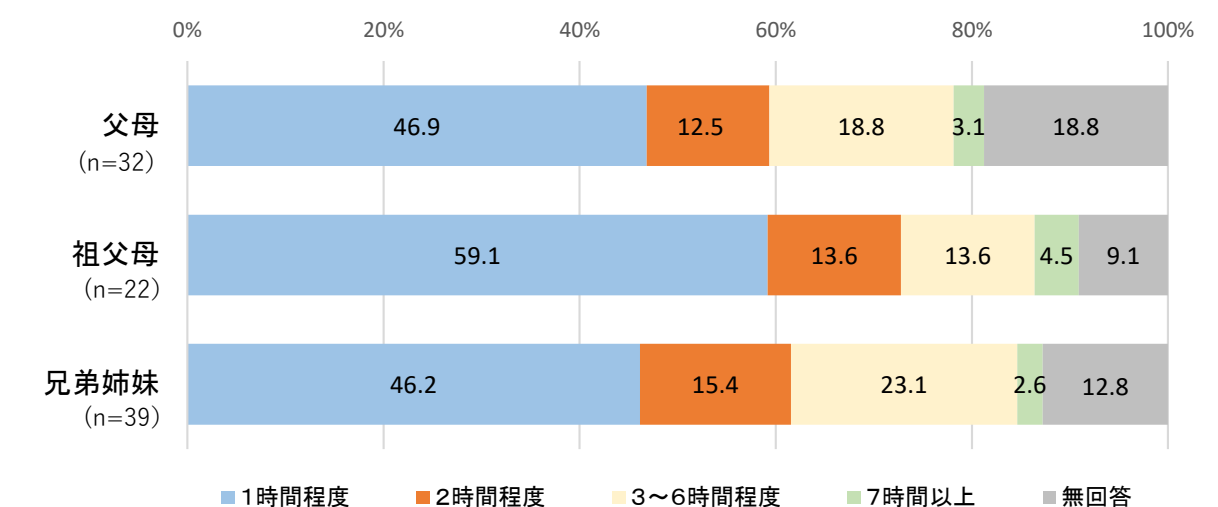
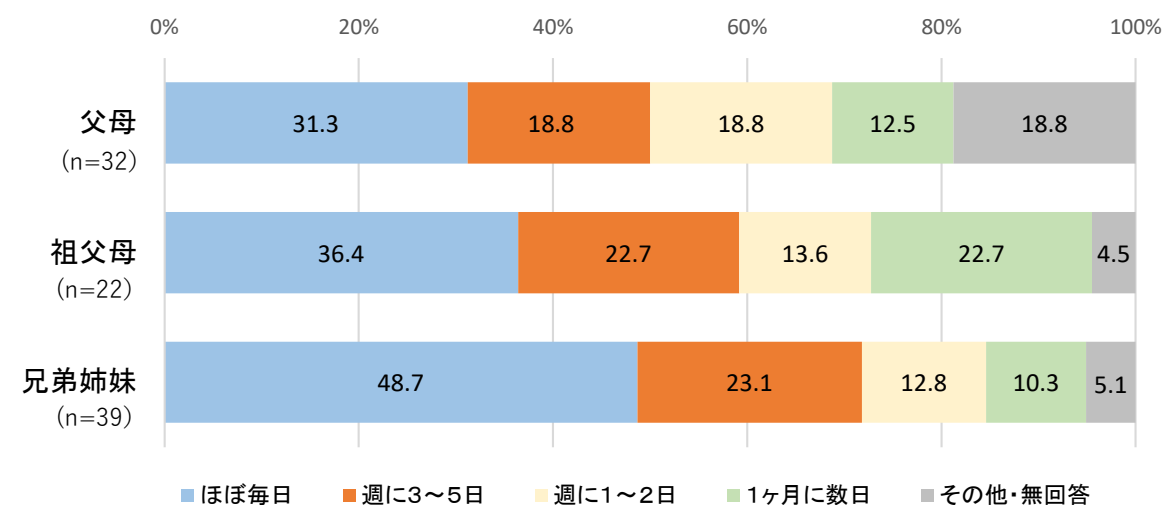
[平日1日あたりの世話に費やす時間]



中学2年生



高校2年生



ヤングケアラー支援について

本県のヤングケアラー支援の体制

R4：学校教員（R4.8）・支援機関（R4.10以降順次※）向け研修を実施
 ※民生委員、障害(相談支援専門員)、子ども家庭支援員、高齢者(地域包括支援センター)、医療

見つけ・聞く

学校

教員

スクールカウンセラー

全公立校に配置 **計142名**
 (主な資格：臨床心理士、公認心理師)

スクールソーシャル ワーカー

県教育事務所に **計14名**
 (主な資格：社会福祉士、精神保健福祉士)

地域

民生委員・児童委員

県内19市町 **計3,152名**

支援に繋ぐ

市町

子ども家庭支援員

19市町全てに配置 **計43名**

各市町の子どもや家庭からの相談対応、
子育て支援、関係機関との調整

(主な資格：保育士、保健師、社会福祉士)

ワンストップ窓口

情報の集約・
掘り起こし

支援に繋ぐ

児童相談所

児童虐待など子ども家庭支援員では
対応できない重篤な事案に対応

児童福祉司 **県 32名 金沢市 16名**

児童心理司 **県 15名 金沢市 6名**

支援

(公的支援)

介護サービス

障害サービス

家事育児サービス

石川県ヤングケアラー実態調査結果

- ① ヤングケアラーと思われる子どもは、クラスに1～2名いる
- ② 子どもが父母の世話をしている割合が全国より高い
- ③ ヤングケアラーの認知度は半数程度

今後の取組方針

- ① 当事者支援の強化
- ② 保護者支援
- ③ 普及啓発